

跡見学園女子大学 学報



新座キャンパス

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に変更されました。跡見学園女子大学では、「感染対策は個々人の主体的な判断に委ねる」という国の方針に準拠し、今年度春学期はほぼ全面対面での授業の継続や、課外活動等の制限解除を行ってきました。約3年間に及ぶコロナ禍の日常にもようやく終わりの兆しが見えてきました。

この3年間は学生生活においても多くの制約がかかり、学生の皆様にとっては満足のない思いをされた方もいらっしゃるかと存じます。教職員一同、学生の皆様の1日1日がより充実したものであるよう、更なる学修・生活支援に努めてまいります。お困りのことやご相談がございましたら、お気軽に教職員にお声かけ下さい。保護者の皆様、関係者の皆様におかれましては、引き続き、本学へのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

記事内容

○学長挨拶	2
○(公財)大学基準協会「大学評価(認証評価)」結果について	3
○令和4年度就職活動総括と今後	4
○2023年度入試総括	5
○跡見校友子女推薦入学試験のご案内	5
○学生会情報	6
○CLUB NOW	6
○跡見花躰記念奨学生表彰	7
○跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰	7
○国際交流活動の紹介	8
○地域交流センター2022年度刊行物と2023年度助成金の採択について	8
○留学の記	9
○図書館トピックス	9
○学生生活に関する調査について	10～11
○2023年度新任教職員紹介	12～13
○名誉教授	12～13
○大学を離れた方	12～13
○情報メディアセンターからのお知らせ	14
○心理教育相談所のご案内	14
○オープンキャンパスのご案内	14
○公式SNS紹介	15
○科目等履修生のご案内	15
○令和5年度行事予定	15
○資料館コレクション	16

学長挨拶

ご挨拶

コロナをめぐる状況が大きく変わりました。5月8日に新型コロナウイルスの感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。これによってマスク着用をはじめとする感染予防対策は個人の判断に委ねられています。この3年余り、わたしたちは気持ちも身体も萎縮した生活を送らざるを得ませんでした。ようやくコロナ禍から解放されつつあることを実感できるようになりました。

本学では4月から、授業については本来の形に戻し、ほぼ全面対面で実施してきました。さらに今回、学生のみなさんの教室外での活動についても制限を解除することとしました。本来の教育環境を取り戻したことを嬉しく思っています。みなさんにはこの「自由」を存分に活かし、充実した学生生活を手に入れてほしいと願っています。

とはいえ、ただ元の生活に戻ればいい、という訳にはいかないかもしれません。わたしたちの前には、アフターコロナの時代を生きるための多くの課題が存在しています。たとえば、オンライン授業です。対面授業の代替としてやむを得ず導入してきましたが、むしろオンライン授業の方が教育効果が高い場

跡見学園女子大学 学長

小 仲 信 孝



合がある、ということを経験的に知りました。今後、オンライン授業をどう活用していくべきか、大きな課題です。

コロナ禍で希薄になった他者との関係性の再構築。これも、大学として取り組むべき大切な課題のひとつです。試みに新座キャンパスのグラウンドにベンチを置いてみたところ、学生たちがおしゃべりしながらランチを楽しむ姿が見られるようになりました。居場所があれば新たな関係が生まれることを発見しました。グラウンド整備をさらに進めながら、キャンパス内に居心地のいい空間を増やしていきたいと考えています。みなさんからアイデアがあれば聞かせてください。

【新入生のみなさんへ】

私は入学式で「自律し／自立した女性」になってほしいとお願いしました。「自律し／自立した女性」とは、さまざまな経験を通して自分の可能性を発見していく女性＝現状に満足することなく新しい「私をひらく」ことができる女性のことです。コロナ禍の制約がなくなった今こそチャンスです。自分自身にチャレンジしてくれることを期待しています。



令和5年度入学式の様子

(公財)大学基準協会「大学評価(認証評価)」結果について

学校教育法第百九条において、大学は、教育研究水準の向上に資するため、大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表すること、また、大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価（認証評価）を受けることが規定されています。

令和3年度、本学は点検・評価を実施し、学外の有識者で構成される外部評価委員会による外部評価を受けました。令和4年度、これらをもとに（公財）大学基準協

会の「大学評価（認証評価）」を受け、その結果、大学基準に「適合」していることが認定されました（認定期間：令和5年4月1日～令和12年3月31日）。

本学における評価に関する取り組みや、点検・評価報告書、大学評価（認証評価）結果等の資料につきましては、本学ホームページよりご覧いただけます。

引き続き、教育研究水準の更なる向上を図り、大学としての社会的使命を果たすべく、点検・評価を実施し、改善に努めてまいります。



左より副学長石田、学長小仲、副学長塩月



「大学基準適合認定証」（（公財）大学基準協会より交付）

紫祭のご案内

ごきげんよう。紫祭実行委員会です。昨年度の紫祭は「黎明～彩り溢れる紫祭へ～」をテーマに掲げ、3年ぶりに対面で開催いたしました。沢山の来場者にお越しいただき、新たな一歩を踏み出せたのではないかと思います。

さて、今年度の紫祭のテーマは「桜華～繋がりを紡ぐ～」です。跡見学園女子大学といえば、桜のイメージが強いのではないのでしょうか。その桜の花と華やかな紫祭のイメージを重ねあわせて、今年度のテーマを「桜華」としました。紫祭開催の10月下旬は、桜の季節ではありませんが、私たちが熱意を込めて紫祭を作り上げ、華やかな大学祭にしたいという想いも込められています。

また、紫祭は跡見生だけでなく、来場して下さる多くの方々の協力を得て開催できるものです。様々な方々との繋がりを紡いで関係を築くことを大切にしたいという気持ちを込めて、サブテーマを「繋がりを紡ぐ」といたしました。

今回は久しぶりに調理を伴う模擬店も解禁します。その他、来場者の方にも楽しんでいただけるような参加型の企画もたくさん予定しております。昨年よりもさらに

紫祭実行委員会 委員長 櫻井 心羽

活気のある紫祭になるのではないかと私たちもワクワクしております。

紫祭実行委員会をはじめ、参加団体一同、精一杯頑張りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。どうぞご期待ください！



令和5（2023）年度紫祭開催日程

令和5(2023)年10月28日(土)・29日(日)

令和4(2022)年度就職活動総括と今後

就職部長 石渡 尚子

<令和4(2022)年度就職活動の総括>

本学における令和4年度就職実績は、就職率が90.0%となり、3年ぶりに上昇した点が特徴です。これは、早い段階から自身のキャリアについて考え、就職活動に積極的に励もうという本学学生の意識の現れと評価できます。

令和4年度(2023年卒)の企業の採用活動は従来に引き続き、形式上は「広報活動開始3月」「選考活動開始6月」というスケジュールでスタートしましたが、実際には2月までに内々定を得ている学生もおりました。本学への求人数は前年度を大きく上回り、企業の採用意欲が回復した1年だったと言えます。多くの企業がインターンシップや1dayの仕事体験などを実施することで、早い時期から企業と学生が接触する機会も増えました。また、コロナ禍において定着したWeb面接やオンライン説明会は、依然として多くの企業で行われており、就職活動や採用手法の形態そのものが多様化しています。

令和4(2022)年度卒業生の就職実績

単位(人)

学部	学科	卒業生数	求職者数	就職率	就職者数	就職率
	人 文	158	138	87.3%	136	98.6%
	現代文化表現	136	122	89.7%	113	92.6%
	コミュニケーション文化	124	111	89.5%	109	98.2%
	臨床心理	3	3	100.0%	3	100.0%
文学部	計	421	374	88.8%	361	96.5%
	マネジメント	224	214	95.5%	212	99.1%
	生活環境マネジメント	92	86	93.5%	85	98.8%
マネジメント学部	計	316	300	94.9%	297	99.0%
	観光デザイン	139	132	95.0%	131	99.2%
	コミュニティデザイン	113	103	91.2%	103	100.0%
観光コミュニティ学部	計	252	235	93.3%	234	99.6%
	臨床心理学	135	103	76.3%	101	98.1%
心理学部	計	135	103	76.3%	101	98.1%
全学合計		1,124	1,012	90.0%	993	98.1%
参考	前年度全学合計	1,024	888	86.7%	876	98.6%

①就職率…就職希望者に占める就職者の割合

②求職者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者

(就職希望者) なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない

③就職者…正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者

④調査時点は令和5(2023)年5月1日現在

<令和5(2023)年度就職活動の見通し> (2023年5月24日現在)

令和5年度(2024年卒)も企業による採用活動は、さらに早期化しています。これに対応して、就職部では、各種プログラムの内容や開催時期、方法について抜本的な見直しをおこないました。学生一人ひとりの就職活動状況に合わせ、必要な時に必要な情報が得られるよう、セミナーのオンデマンド配信を採り入れています。加えて、就職活動の早期化に対応するためプログラムスケジュールを全面的に前倒し、全3年生を対象に行っている求職登録面談については、今年度から2年生も対象として10月から開始する予定です。Webの利便性を活用しながらも、実践に近い形の対面プログラムを体験することで、リアルに接触するからこそ得られるスキルや態度を身につけてもらうことも重要と考えます。

株式会社ディスコが2024年3月卒業予定の大学4年生を対象に実施した就職活動調査(回答数:1,252人)によると、5月1日時点での内定率は70.2%で、昨年同期(65.0%)を上回っています。また、就職活動終了者は全体の34.2%に及びます。企業へのエントリー数、ES(エントリーシート)提出社数は昨年同期より減少しているにもかかわらず、就職活動を「とても厳しい」・「やや厳しい」と感じる学生は合わせて46.6%に上り、「易しい」と感じる学生(21.4%)を大きく上回っています。

現在、就職活動を「厳しい」と感じている4年生の皆さんは、焦らず、納得できるまで、自分のペースで活動を続けましょう。本学への求人はこれから先も途絶えることはありません。困ったことがあれば、いつでも就職課に相談してください。また、3年生の皆さんが活動する2024年度以降も、引き続きインターンシップからの早期選考をはじめとして、就職活動全般の一層の早期化が見込まれます。今から着々と準備を進めておきましょう。

就職活動は低学年のうちから情報感度を高め、早めに行動していくことが大切です。自分は将来何をしたいのか、どのような社会人になりたいのかを1~2年次から意識し、大学生生活を過ごしましょう。そして就職活動を通じ、自己実現と社会貢献ができる仕事を探していきましょう。

2023年度入試総括

入試部長 照井 和尋

本学における2023年度入試は大変気厳しい結果となりました。

志願者は総数2,079名と、前年の3,486名を大きく下回り、入学者数も定員充足に至らない結果となりました。学部別の志願者数では、文学部873名（前年比58.5%）、マネジメント学部540名（同61.8%）、観光コミュニティ学部326名（同56.9%）、心理学部340名（同62.2%）となっており、いずれの学部においても厳しい結果となっています。

このような結果となった大きな要因は、文部科学省の補助金政策の基準が大きく変更し、厳格に行われてきた入学定員管理が、2023年度入試では緩和されたことにあります。厳格化の下では、各大学では合格者数の絞り込みを行った結果、受験倍率は上がりました。一方で、入学定員に満たない大学では追加合格を大量に出しており、受験生に大きな混乱が生じました。入学定員管理が緩和されたことにより、大手上位大学が合格者を大幅に増やしたことに加え、受験者人口の減少、コロナ禍等が重なったこともあり、中堅以下の大学の志願者数は減少し、とりわけ女子大学はその傾向が顕著に現れました。また、年内入試（学校推薦型選抜、総合型選抜）を重視する受験生と早期に入学者を確保したい大学の動きが相まって、入試環境が大きく変化しており

ます。

本学でも、総合型選抜において、I期日程の早期化、一般型における筆記試験内容の変更、「英語検定試験利用型」の設置などを新たに導入した結果、志願者数は前年度を114%上回る245名となりました。

学校推薦型選抜においても、より高等学校での活動を重視すべく選抜方法を見直しましたが、志願者数は前年度の80%ほどに留まる結果となりました。2024年度入試においては、出願資格が適切であるかを再度検討するとともに、本学の学びと入試へのご理解をより深めていただけるよう、受験生や高等学校の先生方へ積極的に働きかけていく所存です。

2022年度のオープンキャンパスにおいては、前年度の2,256名を上回る、合計2,670名の方にご参加いただきましたが、その後の入試での志願者増には、残念ながら繋がりませんでした。この結果を真摯に受け止め、オープンキャンパス企画と参加者の求める情報を再度見直し、志願者の増加を目指してまいります。

今年の3月、募集停止を発表する女子大学のニュースが世間を騒がせました。女子大学における学生募集は、今後も困難が続くと考えられます。入試部では本学の更なる発展を目指し、学生募集活動の強化を続けてまいります。今後ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

跡見校友子女推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の子女を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

対象 本学在学生の姉妹および学園卒業生の子女

- * 入学金については半額免除いたします。
- * 評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。
- * 出願をご希望の方は、一度入試課までご連絡ください。

学生会情報

学生会本部 会長 新井 聖美



ごきげんよう。日を追うごとに暑くなりますが、皆さまいかがお過ごしですか。この度、令和5年度学生会会長に就任いたしました、文学部コミュニケーション文化学科3年の新井聖美と申します。

私たち学生会本部は、4月8日に新座キャンパスにて新入生歓迎会を開催いたしました。今年の新入生歓迎会は少し悪天候の中での開催でしたが、たくさんの新入生の皆さんをお迎えし、とても華やかな歓迎会となりました。当日は、まず花蹊メモリアルホールにて、各団体のPR動画を見ていただいた後、団体ごとに分かれて、サークル個別相談会を開催いたしました。多くの方にご参加いただき、跡見の魅力だけでなく、どのような団体があり、普段どのように活動しているのか、リアルな様子をお届けできたと思います。

コロナウイルス感染拡大防止体制により、活動自粛を余儀なくされていた団体も数多くある中、今年度より徐々に普段の活動を再開できるようになってまいりました。コロナ禍で実現できなかった多くの大学イベントも、

対面での活動が再開されております。ぜひ、少しでも跡見の委員会、クラブ、サークル活動に興味を持っていただき、私たちと一緒に活動しましょう。皆さんの入部を心よりお待ちしております。私たち学生会本部は、皆さんの大学生活をより良いものにできるように、精一杯お手伝いいたしますので、お気軽にお声掛け下さい。

また、今後の活動として、昨年度に引き続き、10月28日、29日に対面での紫祭（学園祭）の開催と、4年ぶりの開催となる和食テーブルマナー講習会を行う予定です。特に和食テーブルマナー講習会に関しましては、久しぶりの開催ということもあり、普段体験できないような豪華な会場をお借りして皆さまに楽しんでいただけるよう、学生会本部一同、精一杯準備しておりますので、どうぞご期待下さい。

私たち学生会本部は、皆さまが跡見学園女子大学での大学生活を楽しんでいただけるように、最善のサポートをしてまいります。今後とも学生会本部一同をどうぞ宜しくお願いいたします。



CLUB Now

かるた部

部長 加藤 里咲

ごきげんよう。かるた部です。私たちは週に3回、平日のお昼休みや土曜日の午後には新座キャンパスの1203和室教室や学生会館合宿スペースで活動しています。

普段の活動では、競技かるたの練習をしています。初心者の方でもルールを覚え、練習を重ねることで大会に出場できる程上達します。また、跡見学園女子大学図書館で所蔵しているかるたの資料を広める活動として地域交流イベントへの参加もしています。昨年度は、かるた大会の主催や近隣の中学校のかるた大会の運営協力などを行いました。イベント時には袴を着用して参加しています。

紫祭では部員が作成した和小物の販売や競技かるたの実演・体験会を行う等、多岐にわたる活動をしています。

かるた部や競技かるたに興味があるという方は、かるた部のTwitter (@atomi_karuta) にご連絡ください。初心者の方も経験者の方も大歓迎です。部員一同お待ちしております。



国際交流活動の紹介

アメリカ協定校・ローワーコロンビアカレッジ関係者来訪について

アメリカの協定校ローワーコロンビアカレッジから学長クリス ペイリー氏とプログラムコーディネーターのピーダーセン 恵子氏が来訪しました。ローワーコロンビアカレッジには2014年以来、総勢90名以上の本学学生を短期研修や中長期留学に派遣しています。

5月26日（金）には新座キャンパスにて「ローワーコロンビアカレッジ留学フェア」を開催しました。留学情報提供や、個別相談を行ない、現地の魅力を直接在學生に発信しました。また、2022年度アメリカ春期海外研修に参加した学生の成果発表会もおこない、学生は研修体験をすべて英語で発表しました。

5月28日（日）には文京キャンパスの「オープンキャンパス」に参加し、来場者に本学とローワーコロンビアカレッジの交流の歴史を紹介するなど、学外に向けても本学の国際交流活動をPRする機会となりました。

今後も、ローワーコロンビアカレッジとの関係を強固なものとし、学生により充実した海外研修や留学環境を提供できるよう努めてまいります。



クリス ペイリー学長による
ローワーコロンビアカレッジ紹介



オープンキャンパス
国際交流ブースの様子

地域交流センター 2022年度刊行物と2023年度助成金の採択について

1. 2022年度の刊行物について

- (1) 跡見学園女子大学地域交流センター年次報告書『ゆかり』第4号が2023年3月に刊行されました。内容は、2022年度に跡見学園女子大学で実施されたさまざまな地域交流活動の記録です。
- (2) 跡見学園女子大学地域交流センターブックレット第3号『文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～』が2023年3月に刊行されました。内容は、2022年10月に開催したシンポジウム「文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～」の講演録と発掘成果展「発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～」の記録です。

この2つの報告書の内容は、本学ホームページでご紹介しています。是非ご覧ください。

- (3) 公益信託大成建設自然・歴史環境基金「2020年度助成」に採択され、コロナ禍を経て報告書『坂ノポリ～学生達の迎える路～』が2023年3月に刊行されました。「近代学生街の生活環境に関する歴史的研究—文京区旧伊勢屋質店（菊坂跡見塾）所蔵資料の保存・調査から—」というテーマで採択されたものです。報告書を作成するにあたり、関連の自治体、団体、企業の協力を得て、跡見「学芸員」in菊坂の学生たちが中心となり調査・活動を行いました。活動の一つである樋口一葉生誕150周年企画展『一葉と花圃～二人が見た「女学生」～』の会期中は多くの方の見学があり、学生ならではの感性による着眼点で新しい指摘を行っているとの評価をいただくことができました。

2. 2023年度助成金の採択について

2023年度は一般財団法人生涯学習開発財団より、新たに助成金が採択されました。「文化財を活用した郷土学習と企画展実施による生涯学習効果の調査について—旧伊勢屋質店を活用した子ども・住民・大学の連携から—」というテーマで採択されたものです。住民・学生・教員がともに学んだ成果を展示・発信していくものを目指し、引き続き、跡見「学芸員」in菊坂の学生たちが、調査・活動を行います。

留学の記事

マネジメント学部マネジメント学科 教授 許 伸江

跡見学園女子大学の国内留学助成制度により、2022年4月から1年間、慶應義塾大学商学部の訪問教授として研究に専念する機会を頂きました。留学に当たり、全学教育・研究支援委員会、マネジメント学部の諸先生方、庶務課、会計課などの皆様にご支援をいただきました。また、留学中のゼミや講義を担当してくださった先生方にも大変お世話になりました。この場をお借りして、皆様に厚くお礼申し上げます。

慶應義塾大学では、コロナ禍であったため学内での制約はありましたが、三田キャンパスの静かな個室の研究室を準備していただき、大学院生以来の貴重な研究生活を送ることができました。図書館では、豊かな蔵書の中から必要な書籍や論文を探し、じっくりと読む時間を持つことができました。

私の今回の研究テーマは「中小企業とSDGs」で、資源制約のある中小企業が社会的課題解決の取組に際して、いかに戦略的に外部連携を行うのかというものです。日本の中小企業における社会貢献活動の歴史・

現状を調べるとともに、韓国との比較を行うため、韓国で社会的経済組織の現状や支援政策についてヒアリング調査を行いました。慶州では、社会的経済組織博覧会が開催されており、現地で出展ブースを回り、シンポジウムにも参加しました。ソウルでは、社会的経済支援センターや財閥系大企業でヒアリング調査を行い、ソーシャルベンチャーへの支援の現状や課題等を知ることができました。今後は日本への示唆も含めて、さらに研究を進めて参ります。この貴重な1年間で得た知見は、今後の教育や研究に生かしていく所存です。



三田演説館と福沢諭吉像
(2023年4月11日撮影)



慶州の社会的弱者支援機関での
ヒアリング(2023年7月8日撮影)

図書館トピックス

● 第2回トワイライト映画上映会開催！

昨年12月に映画上映会を開催したところ、参加した学生たちより再度開催してほしいとの希望が寄せられ、第2回トワイライト映画上映会を開催しました。

- 【主催】 図書課 【共催】 国際交流課
- 【日時】 2023年5月30日(火) 16:20 ~ 18:50
- 【場所】 新座キャンパス図書館視聴覚ホール
- 【上映作品】 「ウリハッキョ」2006年 韓国作品
- 【参加】 32名

「ウリハッキョ」(“私たちの学校”という意味)は北海道札幌市にある朝鮮学校、北海道朝鮮初中高級学校で学ぶ生徒たちと先生の日常を撮影したドキュメンタリー映画です。上映に先立ち、言語学がご専門の吉田さち先生より在日コリアンの人々が日本で生活するに至った歴史的な背景や日本国内の朝鮮学校について、朝鮮韓国語と日本語を混ぜて日常的に使う話し方など様々な視点から説明をいただきました。上映が2時間を超える作品でしたが、学生たちは説明の段階から興味を持ち、集中して映画に見入っていました。上映会後のアンケートへの感想からも今回の上映会に満足した様子が窺われました。

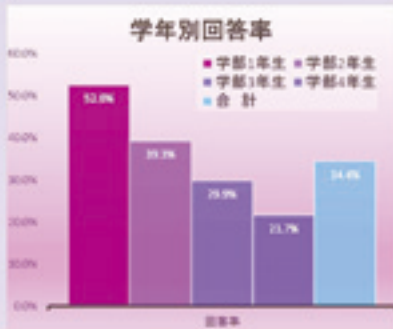
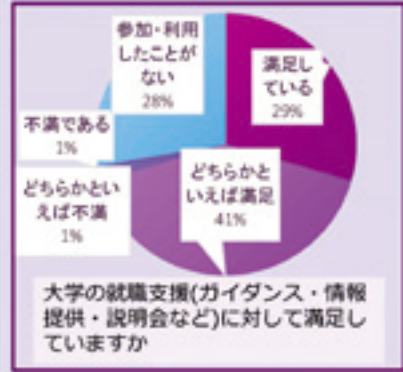
上映会に併せて、新座図書館入口ホールで「KOREA 特集」として、吉田さち先生のご協力のもと、朝鮮韓国の歴史、日本との関係、言語、文学、芸術(K-POPなども含む)に関する資料の展示も行いました。



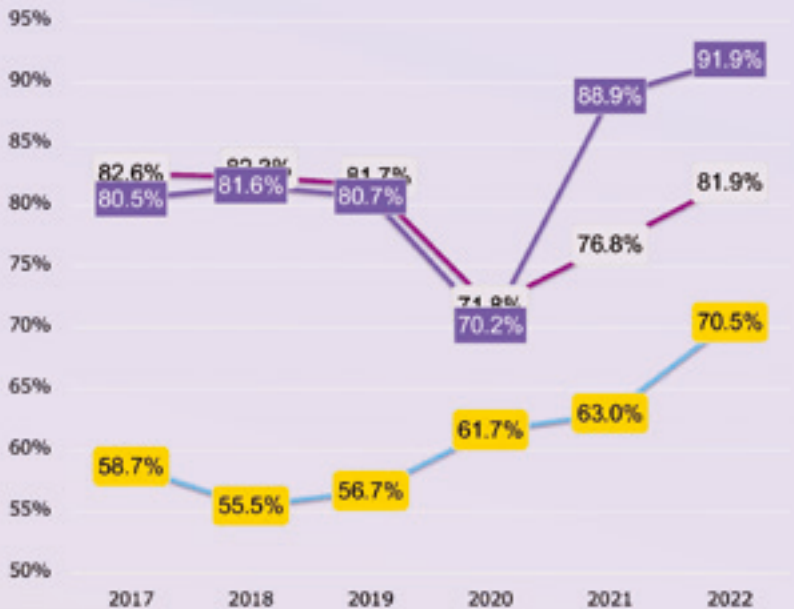
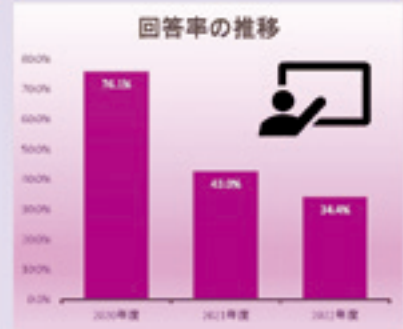
学生生活に関する調査について

本学では、学生の皆さんの意見を大学運営に反映させるため、学生生活や学修に関する調査を例年実施しています。これまでも本調査の結果から「学生食堂へのWi-Fi導入及び利用エリアの拡大」「コモレピ（グリーンホール2階ラウ

学生のみなさんの「声」をまとめました



2022年度 学生生活に関する調査結果 (ダイジェスト版)



2022年度は、8割の学生が学生生活全体において「満足」と回答されました

- 本学での教育・学習、学生生活等に関して全体として満足している
- 受講している授業の内容や進め方について満足している
- 就職支援（ガイダンス・情報提供・説明会など）に対して満足している



←くわしくは本学ホームページにて公開中！ ↓

[https://www.atomi.ac.jp/univ/about/information/ TOP>情報公開>教育研究上の情報>各種調査結果>2022年度『学生生活に関する調査結果』](https://www.atomi.ac.jp/univ/about/information/TOP>情報公開>教育研究上の情報>各種調査結果>2022年度『学生生活に関する調査結果』)



ンジ)設置」「ウォシュレットの導入」などを実施しました。2023年度の調査は6月26日～7月7日にかけて実施、現在集計作業を行っております。大学ホームページでは、2022年度の調査結果を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

今後もより良い大学づくりのため、本調査へのご協力をお願いいたします。

学生のみなさんの声を実現しました

トイレに生理用品を
設置してほしい
(2021・2022年度)



設置しました！
(学生サポートセンター
学生課)

新座1号館の老朽化、何とかありませんか(2020・2021年度)



リフレッシュ工事をしました！(財務部施設管理課)

新座1号館の4階・5階にWi-Fiを入れて
ほしい(2021年度)



設置しました！
(施設管理課・情報サービス課)

図書館に飲食スペースを設けて欲しい(2022年度)



設置しました。カップめん・スープ類以
外は原則OKです！(図書課)

充電スポットを増設してほしい(2021年度)



設置しました！
(情報メディアセンター情報サービス課)

新座キャンパスでも
就職相談窓口を開設
してほしい
(2022年度)

開設しました！
(就職部就職課)



1・2年生対象 進路なんでも相談会 個別相談会

就職活動で何をすればいいのかを学生でやっておくことで、
将来の進路に関する疑問、質問があれば、
グループでも、個人でも、何でも聞いてみよう。

進路なんでも相談会 就職アドバイザーに相談できる
グループ形式の相談会です。
個別相談アドバイザーに個別に相談
できます。場所は所定入館時間

開催日時	会場	内容
6/14(水)	12:00～13:00 新座館AA12	進路なんでも相談会
6/14(水)	13:30～14:30 新座館AA12	個別相談会
6/17(土)	12:00～13:00 新座館AA12	進路なんでも相談会
6/17(土)	13:30～14:30 新座館AA12	個別相談会

申し込みは「ポータル」よりお申し込みください。
申し込み期限：開催日前日の15時までに
申し込みをお願いします。定員は先着順です。
参加費は無料となります。個別相談は予約制となります。
お申し込みください。

問い合わせ先：就職課 03-3943-8858
job-info@atomi.ac.jp

2022年度「学生生活に関する調査結果」公開中

https://www.atomi.ac.jp/univ/resources/pdf/information/admitted/2022_life-result2022.pdf

情報メディアセンターからのお知らせ

◆新座キャンパス全教室にWi-Fi設置完了!

新年度を迎える前に新座キャンパス全教室のWi-Fi整備が完了しました! 文京キャンパスは既に全教室でWi-Fiが使えるので、両キャンパスにて授業中にPC、スマートフォン、タブレットなどのデバイスで簡単にインターネットにアクセスすることができます。学修をより快適に、スムーズに進めることができるようになりました。

◆文京キャンパスの充電スポットを大幅に増やしました!

PCやスマホ、タブレットのバッテリーが途中で切れたらどうしよう…という不安を解消するため、充電スポットを大幅に増やし、各階に設置致しました。詳しくは学内のポスターをご覧ください。快適な学修生活を送れるよう、これからも整備を進めて参ります。



心理教育相談所からのご案内

「不登校を考える親の会」

小・中学生の不登校は、増加傾向にあり24万人を超えています。学校に行かない子どもには、ひとりひとりそれぞれの事情があります。学校に行けない、行きしがる、教室に入れない、朝起きられない、朝になると体調が悪くなる、イライラしている、落ち込んでいる、昼夜逆転している、部屋に引きこもっている、友達とうまくいかない、このような子どもをどう理解すればいいのか、どう向き合えばいいのか、親の会は、みなさまと一緒に話し合い、考えてみる会です。

新座キャンパス心理教育相談所

水曜日(月1~2回)
10:00~12:00(2時間)

文京分室 ATOMIさくらルーム

土曜日(月1~2回)
13:00~15:00(2時間)

Open Campus

オープンキャンパスのご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる企画、また、具体的な入試対策が可能な企画を用意しています。ぜひご参加ください。

Open Campus Schedule

事前登録制

7/23(日) 【文京キャンパス】	8/6(日) 【文京キャンパス】	8/19(土) 【文京キャンパス】	9/10(日) 【文京キャンパス】
10/28(土) 【新座キャンパス】	10/29(日) 【新座キャンパス】	11/12(日) 【文京キャンパス】	

※紫祭同時開催 ※紫祭同時開催

* 実施予定企画

大学説明/入試説明/入試対策講座/体験授業/
教員・学生との個別相談/キャンパスツアー/等

* 詳細は、HPにてご確認ください。

その他、入試に関するお問い合わせは
入試課(TEL:048-478-3338)までお願いいたします。



跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介します。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信していますので、是非、本学公式SNSアカウントをフォロー・友だち登録して、チェックしてみてください。



Instagram

跡見学園女子大学
Atomi University(atomiuniv)



YouTube

YouTube
跡見学園女子大学広報



Twitter

跡見学園女子大学
(@Atomi_univ)



LINE

跡見学園女子大学
受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

本学の正規授業を受けてみませんか？ [科目等履修生のご案内]

本学では、生涯学習、社会人教育推進の観点から「科目等履修生」の制度を設けています。

この制度は、本学の授業科目の一部を学生以外の方が履修して、所定の成績を修めた場合には正規の単位が与えられるもので、本学への出願資格を満たしている方であれば、選考の上本学が定める授業科目の中から希望する科目を選んで授業を受けることができます。

費用は、科目等履修登録料が7,500円/1学期、及び科目等履修料10,000円（卒業生は5,000円/1単位）となっています。

秋学期の募集案内は大学のホームページにて掲載します。詳しくは、教務部教務課へお問い合わせください。

e-mail d-kyomu@mmc.atomi.ac.jp 電話番号 03-3941-7420 (文京キャンパス)

◆ 令和5年度 行事予定 ◆

7月	3日・18日～26日	春学期授業評価期間	10月	27日	紫祭準備日	
	24日	木曜授業実施日		28日・29日	紫祭	
	25日	金曜授業実施日		30日	紫祭後片付日	
	26日	春学期通常授業終了		12月	13日～20日	卒論提出期間
	27日～8月2日	春学期定期試験期間			26日～1月6日	冬季休業
8月	7月27日～2日	春学期定期試験期間	1月	8日	創立記念日(休講)	
	3日	春学期定期試験予備日 追試験日		9日	通常授業開始	
	4日～31日	夏季休業(集中講義等有)		13日・14日	大学入学共通テスト(休講)	
9月	1日～21日	補講期間(集中講義等有)		22日～2月1日	秋学期授業評価期間	
	22日	9月期卒業式		29日	入試(休講)	
	25日～28日	秋学期オリエンテーション期間	30日	補講日		
	26日～28日	秋学期1次履修登録申請期間	31日	土曜授業実施日		
10月	2日	秋学期通常授業開始 秋学期1次履修登録状況(抽選結果)発表	2月	1日	秋学期通常授業終了	
	2日・3日	秋学期2次履修登録申請期間		2日	秋学期定期試験予備日	
	6日	秋学期2次履修登録状況(抽選結果)発表		3日～9日	秋学期定期試験期間	
	6日・7日	秋学期履修登録訂正期間(窓口受付)	10日	追試験日		
			13日～29日	補講期間(集中講義等有)		
3月	1日～30日	春季休業(集中講義等有)	4日	卒業発表		
	4日	卒業発表	11日	進級発表		
	18日	卒業式	18日	卒業式		

資料館コレクション



寒溪双鴨図

跡見花蹊(1840-1926)

絹本墨画・一幅

墨の濃淡を駆使して描いた二羽の鴨が磯に浮かぶ図です。画賛に

「双々収彩羽 並首立寒磯
一拍去何處 翻身求凍魚」

とあり、「花蹊女史寫并題」と款記を入れています。一顆だけ押された「華蹊」朱文印は、長期間にわたって使用されていたもので、例えば明治21年(1888)の「梅と寒菊図」にも、降って大正5年(1916)「若竹之図」にも押印されています。お気に入りの印章の一つだったのでしょう。

画賛を拠りどころにしてその構図をひもといてみます。美しい羽を纏った二羽の鴨が冬の磯で首を並べ浮かんでいました。次の瞬間、一羽の鴨がぱっと身を翻したかと思うと、冷たい水中に首を突っ込み、潜んでいた魚を捕らえました。いや、魚の姿は見えませんが、捕らえたに違いありません。もう一羽はその動きに反応して鋭い眼差しを向けています。“静中に動あり”冬の溪谷での一瞬の緊張感を、花蹊は鋭く描写しています。

右側手前と奥には、梅が何かにはわかには判断がつかませんが、枝を張り出した植物が彩りを与えています。右奥の枝にはすでに花が開いている様子が窺えますから、寒梅かもしれません。

ちなみに「双鴨」は日中で古くから用いられている画題の一つとなっています。

(花蹊記念資料館長 横田恭三)

跡見学園女子大学学報 第105号

発行日 令和5年7月15日
発行 跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687 東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03(3941)7420
URL <https://www.atomi.ac.jp/univ/>

この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。

